

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		聖園学園短期大学		設置者名		学校法人 聖園学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育科	100人	幼二種免	昭和41年度	124人	124人	124人	21人
入学定員合計		100人	合計		124人	124人	124人	21人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成25年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成25年7月1日（月）

実地視察大学：聖園学園短期大学

実地視察委員：大坪治彦委員，八尾坂修委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等についておおむね問題無く実施されている。
- 教育課程について、「2.」で指摘するように，教育職員免許法施行規則等の観点から，是正すべき点が確認されたため，その点については，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教職課程委員会の他に，ボランティア委員会，実習委員会など教職課程に関わる組織が並列的に存在しており，教職課程全般の事項を統括する組織はないように見受けられた。学長のリーダーシップのもと，推進力のある全学組織を構築するなど，大学全体としての教職課程の実施・指導体制の整備に努めていただきたい。
- 貴学の教員養成に対する理念がカリキュラムに反映されているが，明文化されていないので，学生便覧等において貴学の教員養成に対する理念を明確に示すことが重要と考える。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うようにすること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 教職課程のモデルカリキュラムとして，「教職の意義等に関する科目」が最終学年の後期に位置付けられていることが確認されたが，この科目の趣旨からすると，教職課程の導入科目として，早い段階で学修させるべきである。科目の趣旨や授業科目の関連性に鑑みて，適切な履修順序で体系的に学ばせる教育課程を御検討いただきたい。
- 教職実践演習の科目である「保育・教職実践演習（幼稚園）」について，担当教員によっては，科目の内容が教職実践演習の趣旨と異なるものが散見された。教職実践

演習の趣旨に鑑みて、適切な内容となるように再度確認・検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○1年次、2年次にそれぞれ異なる目的を持って教育実習を実施し、系統立った教育実習を行っていることが確認された。今後も実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○教職指導は、学生が教職についての理解を深め、教職への適性について考察するとともに、各科目の履修等を通して、主体的に教員として必要な資質能力を統合・形成していくことができるように、大学が計画的・組織的に指導する必要がある。履修カルテを有効活用するとともに、教職指導の充実に努めていただきたい。

○履修カルテについては、ボランティア活動の参加状況について記録する欄を設けることや、学生に対する教員からのコメントを記入する欄を設けることが望ましく、学生の教職課程内外の取組を有機的に連関させるとともに、その達成度等について随時教員が確認する仕組みを御検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○学校現場体験・ボランティア活動について、教員免許状を取得した後は、市中の公立学校や私立学校に就職することが多いことを考慮して、学内にある幼稚園や保育園だけでなく、近隣の教育委員会とも積極的に連携した取組を行うように今後御検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○幼稚園の教員養成のために必要な教育実習室、音楽室及び図工室等の施設が充実している状況が確認された。

○図書館の入り口付近に絵本や児童書を配架し、学生の利用頻度の高い図書を複数冊備えているなど、学生の視点に立った図書環境が整備されていると言える。今後は、視聴覚教材などについても整備することを期待する。

7. その他特記事項

○学内に幼稚園等の施設もあったが、免許状更新講習において、新しい幼稚園の作り方や新しい音楽教育の在り方等の講習が実施できると、非常に良い講習ができると思われるので、免許状更新講習の実施を御検討いただきたい。